

## ■「心身の症状が改善した小学生のケース」

日本ホメオパシーセンター長崎淵地区

JPHMA 認定ホメオパス No. 0960

ZEN メソッド修得認定 No. 0370

JPHF 認定インナーチャイルドセラピスト No. 0108

湯浅 雅子 (ゆあさ まさこ)

### 【目的および主訴】

子どものケースは精神的な問題が体の症状として出ることが多くあります  
その一例として、発表させていただきます

クライアント：8才 女児

主訴：頭部・胸部・腹部の締めつけ感

不随症状：不安感が強く学校へ行きたくない（母親と一緒にないと登校できない）

鼻血がよく出る

### 【タイムラインおよび方法】

出生体重 2684g

4才 インフルエンザで熱性けいれん 抗けいれん薬を2回使用

6才 鼻血が頻繁に出るようになる

小学校に行くのを嫌がる 傷つきやすい

予防接種：BCG・DPT・MR・おたふくかぜ・水ぼうそう・インフルエンザ・ポリオ・ヒブ

薬：抗生物質・ダイアップ(抗けいれん薬)

※5才からホメオパスの相談会にかかっており、予防接種と薬の影響については以前の相談会で対応済み

方法：ZEN メソッド 全てのレメディーは液体フォームで処方

### 【相談会1回目 2015/9/21】

The Bonninghausen Repertory(ボニンハウゼンのレパートリー)によるレメディーの絞り込み ※以降 TBR と表記

1 : 20# 1. 部位 - 1. 頭部 - 2. 内頭部 - こめかみ(頬骨弓の上の側頭部) :

2 : 234# 1. 部位 - 2. 胸 - 2. 胸部(胸郭) - 胸の内部 :

3 : 246# 1. 部位 - 2. 胸 - 3. 腹部 - 内腹部 - 臍. の部位 :

4 : 950# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 締め付けられる(締め具や万力で締め付けられるような) : - 痛み - 内側部分の :

5 : 120# 1. 部位 - 1. 頭部 - 7. 鼻 - 鼻出血 : - 薄い色(明るい赤)の血の :

6 : 779# 3. 全般 - 1. 精神 (および気質) - 1. 精神 - 不安 :

順位	レメディ-	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Puls.	6	18	4	4	2	2	2	4			
2	Rhus.	6	17	3	3	4	1	3	3			
3	Bell.	6	17	2	3	3	2	4	3			

随時 : サポートΦ水銀 +Alum. LM1 +Hep. LM1 ※Alum. (アルミナ/酸化アルミニウム)  
朝1 : Phos. LM1 Hep. (ヘパ ソーファ/硫化カルシウム)  
朝2 : Syph. LM2 Phos. (フォスフォラス/リン)  
夜1 : Puls. LM3 Syph. (スフィライナム/ノゾース)  
Puls. (ポースティーラ/セイヨウオキナグサ)

QX-SC10 が水銀の影響を示唆したため、随時のサポートは水銀を排出させるために選択  
Puls. メインレメディ-として選択 : 母親と離れることが不安、一人で学校へ行けない。

### 【相談会 2 回目 2016/5/4】

前回の相談会からの変化

- ・主訴の締めつけ感は改善◎
- ・鼻血は時々出る
- ・学校へは行きたくない

今出ている症状 :

- ・学校の視力検査で左目が 0.3 になっていた (前回までは正常) 眼科で近視と診断される
- ・学校で友だちから仲間外れにされていた  
教室ではクライアントの左側で大好きな友だちが他の子と楽しそうに話しているのが  
見えて悲しかった

TBR

1 : 60# 1. 部位 - 1. 頭部 - 4. 視覚 - 近視 :

2 : 1756# 4. 基調 - 1. 基調 - 3. 精神 - 妬み・嫉妬 :

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6
1	Hyos.	2	7	3	4				
2	Lach.	2	5	3	2				

随時 : サポートφ近眼

朝1 : Carb-v. LM2

※Carb-v. (カーボ ベジ/植物炭)

朝2 : Syph. LM3

Syph. (スフィライナム/ノゾース)

夜1 : Hyos. LM4

Hyos. (ハイオサイマス/ヒヨス)

Hyos. メインレメディーとして選択 : 嫉妬 失恋からの失望

子どもの視力は精神的な問題の影響を受けやすいため、友だち関係のトラブルに着目  
大好きな友だちに失恋したような気持ち、また他の友だちと仲良くしていることに  
対する嫉妬心があると考えハイオサイマスを選択

Carb-v. 目の周りの酸素量を増やす

(酸欠になると毛様体の筋力と水晶体の弾力が失われ近視になりやすい)

### 【相談会 3 回目 2016/9/5】

前回の相談会からの変化

・39°Cの熱が5月に3日間、8月に2日間でした

・8月に眼科で検査したところ

右目 軽度近視 →正常

左目 中等度近視→軽度近視 に改善

眼科で処方された点眼薬はクライアントの母親の判断で使用していないが、  
眼科医からは「視力が改善する子はほとんどいないのにすごい！」ととても  
喜ばれた

今出ている症状 :

・近視

・食前に胃の痛みや吐き気がある

・学校へ行きたくない

TBR

1 : 60# 1. 部位 - 1. 頭部 - 4. 視覚 - 近視 :

2 : 303# 2. 系統 - 1. 栄養(消化) - 1. 内臓(臓器) - 胃(およびその部位) :

3 : 1054# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 圧するような痛み(および疼痛) - 押しつぶす(圧縮する) :

4 : 385# 2. 系統 - 1. 栄養(消化) - 7. 吐き気および嘔吐 - 気持ちが悪くなる(胃の不快感) :

5 : 1897# 4. 基調 - 1. 基調 - 5. 状態および状況から - 食べる、前(胃が空っぽのとき、断食) :

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8
1	Sulf.	5	17	3	4	3	4	3			
2	Phos.	5	17	4	4	1	4	4			
3	Puls.	5	15	4	4	2	2	3			

随時 : サポートΦ眼 +Phys. 6C

※Phys. (ファイソグティグマ/カラバルマメ)

朝1 : Phos. LM3

Phos. (フォスフォラス/リン)

朝2 : Syph. LM4

Syph. (スフィライナム/ノゾース)

夜1 : Puls. LM5

Puls. (ポースティーラ/セイヨウオキナグサ)

Puls. メインレメディーとして再度選択 : 今も不安が強く学校へ一人で行くことができない

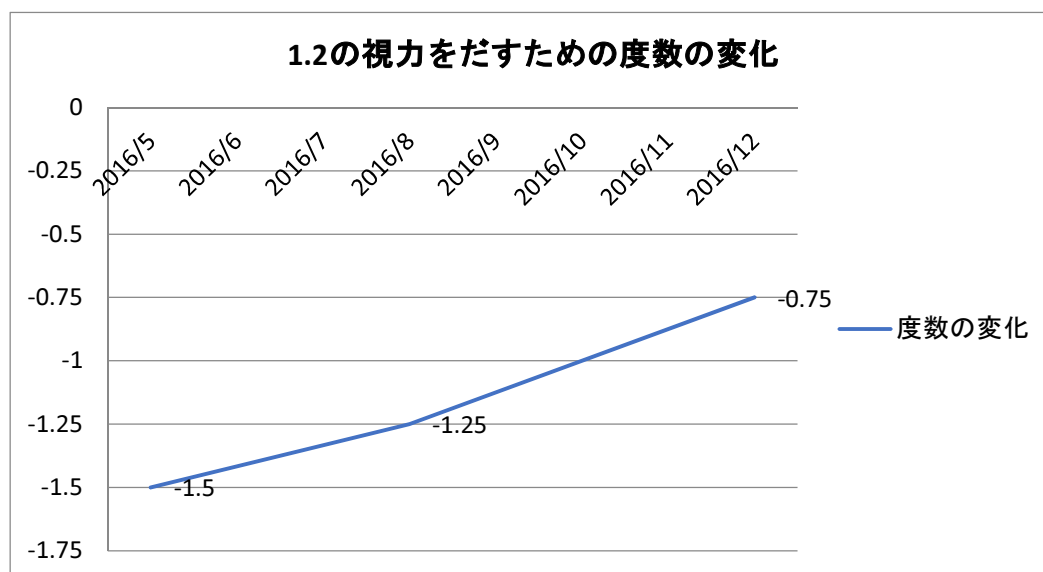
### 【相談会 3 回目以降の経過 2016/12/25】

・眼科で検査したところ左目視力がさらに改善

(眼科で処方された点眼薬は母親の判断で今回も使用していない)

・学校へは少し行けるようになってきた

・腹部の痛みと吐き気はまだある



度数は 0.25 刻み マイナスが大きいほど近視が強い

2016年5月から12月の間で3段階改善

**【考察】**

当初の主訴である締めつけ感はほぼ改善した。

視力に関してはメインレメディーとして選択したハイオサイマスが、クライアントの精神的な問題や症状に合っていたと考える。

その後、嫉妬の対象であったクラスメートとはうまくつきあえるようになっている。

症状の改善にはレメディーだけでなく言葉のレメディーも大切であることをクライアントの母親に理解してもらったところ、母親も自身のインナーチャイルド癒しに取り組んでくれた。

その後母親自身が親から褒められたり無条件に受け入れてもらったりした経験がなかったために子どもに愛情をうまく伝えることができていなかったことに気づくことができた。

母親の接し方が変わり愛情が伝わるようになったことで、クライアントの不安感も改善し今では一人で登校できるようになっている。

子どもの心身の問題に対しホメオパシーは大きな助けになる可能性をもっています。

今回のケースが悩んでいる方の参考になれば大変嬉しく思います。

**カテゴリー：[子供]**